

平成 18 年 3 月 14 日

各 位

株式会社カネボウ化粧品

平成17年度 連結決算について

下記の通り平成 17 年度連結決算について、お知らせ致します。

1. 平成 17 年度連結決算の概要 及び 再生計画

- (1) 当期の連結売上高は 2,125 億円となりました。
- (2) 営業譲り受けに伴い発生した商標権等の知的財産権の償却費控除前の営業利益は 202 億円です。
- (3) 商標権等の知的財産権の償却費控除後の営業利益においても、12 億円の黒字となりました。

[平成 17 年度(H17.1～12)の連結経営成績]

(単位 百万円、百万円未満切捨表示)

	実 績	再生計画	差 異
売上高	212,586	196,548	16,038
売上原価	48,662	48,374	288
売上総利益	163,923	148,174	15,749
販売管理費 注1	143,670	130,051	13,619
償却前営業利益 注2	20,253	18,123	2,130
営業利益	1,208	922	2,130

注1. 販売管理費は、営業譲り受けに伴い発生した商標権等の知的財産権の償却費を除外しています。

注2. 償却前営業利益は、営業譲り受けに伴い発生した商標権等の知的財産権の償却費を控除する前のものです。

2. 連結の範囲

(1) 連結国内子会社 7 社

カネボウ化粧品販売株式会社、株式会社エキップ、株式会社リサーチ、
カネボウコスミリオン株式会社、株式会社ジョゼ、他 2 社

(2) 連結海外子会社 12 社

Kanebo Cosmetics(Europe)Ltd.、Kanebo Cosmetics Deutschland GmbH、
Kanebo Cosmetics France S.A.R.L.、Kanebo Cosmetics Italy S.P.A.、
Kanebo Cosmetics U.S.A. Inc.、Kanebo Cosmetics of Hawaii, Inc.、
Shanghai Kanebo Cosmetics Co., Ltd.、Kanebo(Shanghai)Sales Co., Ltd.、
Taiwan Kanebo Cosmetics, Co., Ltd.、Kanebo Cosmetics(Thailand)Co., Ltd. 他 2 社

3. 17年度連結決算の概要

当営業年度におけるわが国経済は、設備投資や外需拡大の影響で企業収益が回復基調となり、株式市場も活発な動きに転じております。さらに、個人消費も堅調に推移し、総じて明るい兆しが見え始めました。化粧品業界においても、経済産業省発表の出荷統計によれば、出荷数量は順調に増加し、個人消費の拡大傾向が感じられます。しかし、一方では、原油価格の高騰や、高齢化社会に対する社会的課題を抱える中で、依然、先行きには予断の許さない状況が続いております。

このような事業環境の中、当社は前営業年度より実施したブランド統廃合、営業組織改革、海外事業戦略強化等の経営改革の深化を通じ、当営業年度は企業価値を本格的に向上させる年と位置づけ、全社を挙げてその実現に取り組んでまいりました。中でも、改革の基軸であったブランド統廃合については、「強いブランドづくり」を掲げ、重点ブランドへの経営資源の集中投下を図り、該当ブランド全体で高伸長を達成することができました。基幹ブランドであるレヴュー、テストイモ、KATE等が好調に推移したほか、フリープラス、ドルティア、ルナソル等の拠点限定ブランドについても、投資を強化し、充実を図ることができました。

営業組織については、前営業年度中の平成16年10月に、従来の地域別営業組織から「流通別対応型営業」と「組織のフラット化」による機動力向上を目的とした新組織体制を発足し、当営業年度において流通別施策の浸透を図りました。

海外事業については、不採算国、不採算事業を整理した結果、収益が改善しました。また、主力の欧州については、平成17年8月にSENSAI Premierラインを導入したことで、今後、さらに高級品市場において、存在感を高められると期待しております。

以上の結果、当期の連結売上高は再生計画を160億円上回る2,125億円(対再生計画比+8.1%)、商標権等の知的財産権の償却前営業利益は同21億円上回る202億円(対再生計画比+11.7%)となり、償却後営業利益においても12億円の黒字を達成することができました。

4. 今後の当社の業績開示について

当社は、平成16年5月7日付でカネボウ株式会社より化粧品事業を譲り受け、新生カネボウ化粧品として株式会社産業再生機構の支援のもと、企業再生に努めてまいりましたが、平成18年1月31日付で株式会社産業再生機構は所有する全株式を花王株式会社に譲渡し、これをもちまして当社の再生期間は終了致しました。

この間、再生支援企業としての情報開示の重要性を考慮し、四半期毎の業績を再生計画との対比で開示してまいりましたが、平成18年2月以降は花王株式会社の連結子会社となりますので、今後の当社業績は、同社の連結業績の中に含まれることとなります。

以 上

連結損益計算書（要旨）

自 平成17年1月1日

至 平成17年12月31日

（単位：百万円）

科 目	金 額
売上高	212,586
営業費用	192,332
償却前営業利益	20,253
商標権等償却費	19,045
営業利益	1,208
営業外収益	818
営業外費用	3,649
経常損失	1,622
特別利益	996
特別損失	7,945
税引前当期純損失	8,571
当期純損失	8,387

（金額表示は百万円未満切捨て）

連結貸借対照表（要旨）

平成17年12月31日現在

（単位：百万円）

資産の部		負債・資本の部	
流動資産	61,484	流動負債	201,348
固定資産		固定負債	31,759
有形固定資産	16,966	負債合計	233,107
無形固定資産	141,280	少数株主持分	315
投資その他の資産	16,814	少数株主持分計	315
		資本金	125,450
		資本剰余金	125,400
		利益剰余金	247,987
		その他	259
		資本合計	3,122
資産合計	236,545	負債・資本合計	236,545

（金額表示は百万円未満切捨て）